

平成26年6月期 第1四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成25年10月30日

上場会社名 アトムリビンテック株式会社

上場取引所 東

URL http://www.atomlt.com/ コード番号 3426 代表者 (役職名)代表取締役社長問合せ先責任者(役職名)常務取締役管理部管掌

(氏名) 高橋 良一

(氏名) 根本 博 TEL 03-3876-0607

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の業績(平成25年7月1日~平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	明	営業利	J益	経常和	山益	四半期紅	植利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	2,299	17.1	164	46.4	175	44.7	99	32.8
25年6月期第1四半期	1,963	17.2	112	230.5	120	105.6	74	28.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	24.92	_
25年6月期第1四半期	18.77	_

(2) 財政状態

(=/ //1=>(/ //2)	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第1四半期	8,610	7,397	85.9
25年6月期	8,527	7,348	86.2

(参考) 自己資本

26年6月期第1四半期 7,397百万円 25年6月期 7,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭		
25年6月期	_	10.00	_	15.00	25.00		
26年6月期	_						
26年6月期(予想)		15.00		15.00	30.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年6月期(予想) 第2四半期末配当金の内訳 26年6月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当5円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成26年 6月期の業績予想(平成25年 7月 1日~平成26年 6月30日)

(%表示は、	涌期は対前期.	四半期は対前年	:同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	刊益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	4,580	8.3	320	12.0	340	11.6	200	11.1	50.13
通期	9,110	8.2	580	16.4	610	14.1	370	13.8	92.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	4,105,000 株	25年6月期	4,105,000 株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	115,117 株	25年6月期	115,117 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	3,989,883 株	25年6月期1Q	3,989,883 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

エロロ半期決算短信は、金融商品取引法に基づくの半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく 四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その 達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及 び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご 覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	,
(1)経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)
(2) 財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・2)
(3)業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)
2. 四半期財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	;
(1) 四半期貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	;
(2) 四半期損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
第1四半期累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(3)継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	;
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>.</u>

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び金融緩和を背景とした円安・株高基調により、景気回復への期待は増嵩拡大しつつあるものの、実体経済への具体的な波及は今後に持ち越しており、消費税増税政策の動向、新興国経済の成長鈍化など、懸念すべき問題も多く、景気の先行きに対する不透明感は、依然として拭い去れない状況のもとで推移いたしました。

当社の関連する住宅市場におきましては、被災地における復興住宅の着工増加や各種住宅取得支援制度の効果を背景として、新設住宅着工戸数に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、雇用・所得環境には未だ厳しさが残存しているなど、本格的な市場の回復には至らない水準で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は「第8次中期経営計画」(第59期~第61期)において「次世代に向けた企画開発力の向上」を基本方針に掲げ、住宅関連産業における企画開発型企業として、市場ニーズに応えるものづくりを推進し、併せて全方位のお客様に対する積極的な営業活動に最大の努力を傾注するとともに、販売費及び一般管理費の圧縮など、調整かつ管理可能な諸施策を講じて参りました。とりわけ、ソフトクローズ関連商品の充実強化と市場への浸透、販路拡大に取り組んで参りました結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高2,299百万円(前年同期比17.1%増)、営業利益164百万円(前年同期比46.4%増)、経常利益175百万円(前年同期比44.7%増)、四半期純利益99百万円(前年同期比32.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産総額は8,610百万円となり、前事業年度末に比べ82百万円増加となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が98百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては 1,212 百万円となり、前事業年度末に比べ 33 百万円増加となりました。主な内容は、未払法人税等が 124 百万円減少しましたが、買掛金が 121 百万円増加、流動負債のその他が 41 百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては7,397 百万円となり、前事業年度末に比べ48 百万円増加となりました。 主な内容は、配当金支払で59 百万円減少しましたが、第1 四半期累計期間における四半期純利益で99 百万円増加したこと等によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、上述の経済環境を要因として、引き続き不透明な状況が続くものと考えられますが、当社の関連する住宅市場におきましては、低水準にある住宅ローン金利や被災地着工の増加、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などに支えられ、緩やかな回復傾向を示すと考えられる一方、消費性向及び雇用・所得環境の明確な改善が伴わなければ、早期かつ顕著な回復は望めない状況にあると思われます。

このような状況のもと、当社といたしましては、第8次中期経営計画の基本方針に基づき、本来の企画開発型企業として、新技術の開発と新商品の開発に磨きをかけることはもとより、企画開発力を更に強化し、時代と社会の要請に応えるものづくりを目指すとともに、業務効率及び経営効率の改善を目的とする施設・設備、情報システムの更新に着手するなど、引き続き調整かつ管理可能な諸施策を講じつつも、厳しい市場環境に即応し得る営業体制とこれを支える管理体制の強化を図り、併せて本年10月開催の「秋の内覧会」を軸として、第2四半期冒頭より新たな商品展開と販路開拓に努め、新規事業と既存事業との更なる相乗効果の実現を目論んで参りたいと思います。

なお、第2四半期累計期間及び通期の業績見通しにつきましては、現時点において平成25年8月5日公表の「平成26年6月期の業績予想」に変更はございません。

2. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

(1) 四半期貸借対照表		
		(単位:千円)
	前事業年度 (平成25年 6 月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 561, 852	1, 867, 145
受取手形及び売掛金	2, 143, 475	2, 241, 900
有価証券	893, 465	393, 325
商品	470, 420	582, 241
貯蔵品	9, 691	7, 345
その他	66, 301	64, 390
貸倒引当金	△3, 219	△673
流動資産合計	5, 141, 987	5, 155, 674
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1, 017, 823	1, 006, 085
工具、器具及び備品(純額)	96, 774	103, 507
土地	1, 027, 767	1, 027, 767
その他(純額)	1, 247	58, 838
有形固定資産合計	2, 143, 614	2, 196, 198
無形固定資産	9, 986	19, 889
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 084, 231	1, 102, 250
その他	148, 252	136, 231
貸倒引当金	$\triangle 94$	△89
投資その他の資産合計	1, 232, 389	1, 238, 391
固定資産合計	3, 385, 990	3, 454, 480
資産合計	8, 527, 978	8, 610, 154

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	471, 820	593, 616
未払法人税等	197, 668	73, 057
その他	155, 198	196, 664
流動負債合計	824, 688	863, 338
固定負債		
退職給付引当金	176, 328	178, 578
役員退職慰労引当金	178, 095	166, 387
その他	600	4,600
固定負債合計	355, 024	349, 566
負債合計	1, 179, 713	1, 212, 904
純資産の部		
株主資本		
資本金	300, 745	300, 745
資本剰余金	273, 245	273, 245
利益剰余金	6, 818, 633	6, 858, 200
自己株式	△64, 475	△64, 475
株主資本合計	7, 328, 148	7, 367, 714
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20, 117	29, 535
評価・換算差額等合計	20, 117	29, 535
純資産合計	7, 348, 265	7, 397, 249
負債純資産合計	8, 527, 978	8, 610, 154

(2) 四半期損益計算書 (第1四半期累計期間)

(単位:千円)

		(単位:丁円)
	前第1四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1, 963, 983	2, 299, 270
売上原価	1, 406, 300	1, 659, 986
売上総利益	557, 683	639, 283
販売費及び一般管理費	445, 290	474, 714
営業利益	112, 392	164, 568
営業外収益		
受取利息	2, 467	2,660
受取配当金	80	40
仕入割引	5, 840	7, 015
その他	181	1,647
営業外収益合計	8, 569	11, 363
営業外費用		
雑損失	<u> </u>	896
営業外費用合計		896
経常利益	120, 961	175, 035
特別利益	_	_
特別損失		
固定資産除却損		0
特別損失合計	265	0
税引前四半期純利益	120, 696	175, 035
法人税、住民税及び事業税	40, 218	71,659
法人税等調整額	5, 593	3, 961
法人税等合計	45, 811	75, 621
四半期純利益	74, 884	99, 414

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。